



ノロウイルスにご注意を！

「ノロウイルス」という名前を報道等でも耳にしたことのある方は多いと思います。このノロウイルスによる「感染性胃腸炎」や「食中毒」は一年を通して発生していますが、11月くらいから発生件数が増加し始め、12月から翌1月にかけて、特に冬季が発生のピークになる傾向があります。

ノロウイルスは手指や食品などを介して、口から感染、人の腸管で増殖し、潜伏期間（感染から発症まで）は24～48時間で、主な症状として吐き気、嘔吐、腹痛、下痢などを起こします。発熱は比較的軽度なことが多く、健康な方は軽症で1～2日くらいで回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、嘔吐物を誤って気道に詰まらせて死亡することもあります。

現在、このノロウイルスに効果のあるワクチンや抗ウイルス剤はありません。このため、治療は通常、対症療法が行われます。特に、体力の弱い乳幼児、高齢者は、脱水症状を起こしたり、体力を消耗したりしないように、水分と栄養の補給を充分に行う必要があります。最近では「厚生労働省許可・個別評価型・病者用食品」と明記された経口補水イオン飲料も販売されています。脱水症状がひどい場合には、病院で輸液による治療などが必要になることもあります。また無理に下痢止めの薬を飲むことは、症状の回復を遅らせることがあるので使用しないことが望ましいでしょう。



主な経口補水イオン飲料

治療薬がありませんので予防対策が重要になってきます。集団感染を防ぐ意味でも、意識を持って、皆様のまわりの方々と一緒に行うことが大切です。

- (1) 食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗いましょう。
- (2) 下痢や嘔吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。
- (3) 胃腸炎患者に接する方は、患者の糞便や嘔吐物を適切に処理、消毒を行い、感染を広げないようにしましょう。

*消毒が必要な場合は、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系消毒薬）を使用して下さい。

けいゆう病院 薬局 林 誠一

《編集後記》活躍する薬剤師を紹介しています。今後も様々な事業を企画してまいります。ご要望などございましたら、下記の事務局までご連絡お願いいたします。

《発行》公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会

〒235-0007 横浜市磯子区西町14-11 神奈川県総合薬事保健センター 4階

TEL：045-761-3345 FAX：045-761-3347

インターネットアドレス <http://www.kshp.jp/>

